

■基本目標4 持続可能で誰もが活躍でき、安心して住らせる地域をつくる

推進会議の評価						

基本目標	基準値	目標値	実績値 (R2年4月1日～ R5年3月31日)	令和4年度評価	今後の展開
自治会加入率	73% (H30)	75%	66.5% (88.6%)	目標値の達成に向けて、改善や工夫が必要である。	加入者の高齢化等により脱退世帯が増える課題は依然としてありますが、煤ヶ谷体育祭の運営の見直し等を行い自治会の負担を軽減しました。防災の観点からも地域のつながりを担う自治会の存続は重要な課題であるため、引き続き広報等での加入促進を行い、加入率の向上に努めます。

施策名	重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	実績値 (R2年4月1日～ R5年3月31日)	令和4年度 取組状況	今後の展開
(1) 交通の利便性の向上						
①. 村民の公共交通の基盤である路線バスの維持・充実 ②. 交通弱者の移動の足を補完するため地域事情に応じた利便性の向上 ③. 移住施策と連携した新たな交通施策の検討	路線バス運行便数の維持	平日47便、土曜38便、 休日38便 (H30)	平日47便、土曜38便、休日38便	平日46便、土曜33便、 休日33便 (91.1%)	平日45便、土曜33便、休日33便 (90.2%)	路線バス利用者の減少により、運行便数が減少しました。引き続き、通勤・通学者が多い早朝深夜帯の運行に係る費用を補助し、村民の生活利便性の向上を図ります。また、令和5年度より開始した「通勤定期券購入費支援補助金」をさらに周知し、路線バス利用者の増加促進と運行数の維持に努めます。
(2) 生涯にわたる健康づくりと高齢化社会に備えた体制の充実						
①. 心身の健康維持に向けた総合的な健康づくりの充実 ②. 高齢化社会に備えた安心して暮らせる体制の整備	未病センターきよかわ利用者数	—	400人／年間	54人／年間 (13.5%)	54人／年間 ※令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため施設の利用を停止していました。	気軽に健康状態や体力等を「見える化」できる環境を提供することで、村民の健康に対する意識の向上につながると考えられるため、今後も利用を促していきます。
	やまびこ健診受診率	—	40%	33% (82.5%)	33.0%	健康診査は、単に受診時の健康状態を知ってもらうだけでなく、疾病の早期発見や生活習慣を改善するきっかけとなることから、受診率が低い若年層への受診を呼びかけ、引き続き、受診率の向上を目指します。
	介護予防教室参加率	—	12%	12% (100%)	12%	以前は男性の参加者が少ないことが課題でしたが、徐々に男性の参加者が増えてきています。今後も継続して啓発を行い、参加促進を図ります。
(3) 役場を中心としたコンパクトビレッジの充実と地域住民サービスの向上						
①. コンパクトビレッジの充実	道の駅「清川」の利用者数	93,570人／年間 (H30)	10万人／年間	133,332人／年間 (133.3%)	133,332人／年間 133.3%	指定管理者とともに魅力ある施設運営を目指します。
	村内の小売店・飲食店等の増加	—	5年間で1店	6店 (600%)	2店	新規事業者が起業しやすいような制度や環境づくりを行い、さらなる事業者の誘導を図ります。
(4) コミュニティの活性化による安全安心な地域づくり						
①. 地域を支える人材育成と地域コミュニティの形成 ②. 地域ぐるみの安全・安心な村づくりの推進 ③. 防災・減災対策の推進	新規生涯学習イベント数	—	5件	6件 (120%)	3件 男女共同参画推進講演会 歴史講座 カヌー体験教室	イベント開催にあつては、村内団体などとの連携が必要となるため、村内で担い手となる人材の発掘や活用を進め、生涯学習活動の更なる推進を図ります。
	防災訓練の参加率	20% (H30)	25%	33% (132%)	33%	近年の激甚化する自然災害には、村民の更なる防災意識の向上が必要となります。「自助」「共助」による防災意識をさらに高め、地域主導による安全で安心な地域づくりを推進します。
	クリーンキャンペーンの参加率	32.8% (H30)	40%	—% (0%)	—% (0%)	※令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催手法を変更したため、参加者を集計していません。